

事務事業名		雲南北地区中山間地域総合整備事業負担金		所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
総合計画体系	政策名	(V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》		所属G	土地改良G	課長名	渡部 克彦
	施策名	(33)農業の振興		担当者名	野津 睦	電話番号	0854-40-1053 (内線) 3710
	目的	対象	市内の農業従事者	意図	A)消費者に信頼される安心・安全な農畜産物を生産する。B)農家所得の向上。		
	基本事業名	(096)生産基盤の整備・保全		予算科目	会計	款	大事業
目的	対象	農業従事者	意図	0 1 3 0 0 1		中事業	中事業名
				0 5 5 0 0 5		中事業	中事業名
							雲南北地区中山間地域総合整備事業負担金

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (24 年度～ 29 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
事業費負担金 農業用排水: 4,090千円(10%)、ほ場整備: 13,951千円(10%)、暗渠排水: 3,081千円(10%)、集落防災施設: 2,195千円(25%)

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) ・島根県で発注する農業用排水測量・設計、ほ場整備測量・設計・工事、暗渠排水工事、防火水槽測量・設計等の地元調整。 ・防火水槽の地元分担金徴収事務。 ・市負担金の支出。	25年度計画(25年度に計画する主な活動) ・島根県で発注する農業用排水測量・設計・工事、ほ場整備測量・設計・工事、暗渠排水工事、防火水槽工事、防護柵設置等の地元調整。 ・防火水槽の地元分担金徴収事務。 ・市負担金の支出。			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 説明会等の回数	回			80	80
	イ					
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	事業実施地区の受益者	ア 受益戸数	箇所			542	452
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
ほ場整備により水田の区画拡大、農業用排水整備による安定的な用水確保、暗渠排水整備による乾田化、防護柵設置による鳥獣被害の防止等、受益者の生産効率向上が図られる。	ア 事業実施箇所数	箇所			50	43.0	
	イ						
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)	
事業費負担金 市負担額は事業費の10%(農業集落防災施設のみ25%)	財源内訳	国庫支出金	千円			0	0
		県支出金	千円			0	0
		地方債	千円			19,700	22,300
		その他	千円			439	1,750
	事業費計(A)		千円			23,317	26,250
	人件費	正規職員従事人数	人			3	
		延べ業務時間	時間			240	
人件費計(B)		千円			940		
トータルコスト(A)+(B)		千円			24,257		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・平成23年度に大原地区中山間地域総合整備事業が完了し、平成24年度から雲南北地区中山間地域総合整備事業が実施された。	特になし	事業実施地域からは、早期完成の要望が寄せられている。

事務事業名	雲南北地区中山間地域総合整備事業負担金	所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒		
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
C 効率性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		理由
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			理由
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		(具体的な手段や類似事業名)
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		理由
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		理由
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			理由
B 有効性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		理由
	⑩ 評価の総括			理由
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度から6年間の事業が実施された。 早期完成に向けて、事業実施地区の円滑調整が必須。 	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		